

前日光市議会議員

# 平木ちさこ 活動レポート

# 元気ネット

発行  
平木ちさこ後援会  
事務所  
〒321-1274 栃木県日光市土沢1962  
TEL 0288-26-6739  
FAX 0288-26-6759  
Eメール hiraki-chisako@nifty.com

ホームページ <http://hirakichisako.com> (毎月20日更新)

## ちょっと イイはなし

**あ**るイチゴの観光農園のはなし。  
いま、イチゴ狩りが若い人たちに人気がある。若者たちによると、デートをするのに「イチゴ狩りに行かない?」というのがちょっとおしゃれで、デートに誘いやすいのだそうだ。



この間、3組のカップルが、イチゴ狩りを機にお付き合いを始めたとのうれしい報告があったという。  
観光と農業と婚活、まさにトリプルWINな素敵なお話だ。

それだけではない。ひとつの農園がヒットするとタクシー会社も繁盛する。中には1日に

12回もお客さんを乗せて来たという運転手さんもいた。そうするとトリプルWINどころではない。

似たような話で、ある畳屋さんが「私のお客さんは観光客だ」と言っている。?? この畳屋さん、旅館の畳を敷いているのだそうだ。

\*

**こ**のように、地域の活性化とは風が吹けば桶屋が儲かる式にどんどん膨らんでゆく。

そこで知らない、もったいない話もちょっとだけ。

## 知らないともったいない!

**地**域資源の活用として、5つのふるさと名物応援事業という国の補助金がある。

**1** 中小企業・小規模事業者が、異分野の事業者と共同で行う商品・サービスの開発などにかかる費用の2/3を補助する

▶上限 1,000万円

**2** 中小企業・小規模事業者が、地域資源活用や農商工連携により行う商品・サービスの開発などにかかる費用の2/3を補助する

▶上限 500万円

**3** 小売事業者等が、製造事業者と連携して「ふるさと名物」などの販路開拓に取り組む際にかかる費用を大企業には1/2、中小企業等には2/3を補助する

▶上限 1,000万円

**4** 複数の中小企業・小規模事業者が「ふるさと名物」などを地域ブランド化するための取り組みを行う場合の費用の2/3を補助する

▶上限 2,000万円

**5** 地域資源を海外展開させるため、国内外の専門家などを活用して行う、ものづくり、食、観光等の地域資源の発掘や、海外向け商品の開発などの取り組みを支援する。

**以**上は、中小企業庁創業・新事業促進課の27年度予算のほんの一部を抜粋したもの。

他にも「若者・女性・シニア等の中から地域の中小企業や小規模事業者が必要とする人材を発掘し、紹介・定着まで一貫支援する」というものもある。

その他、下請け業者の自立化、販路開拓などに対するものなど、盛りだくさんの補助金がある。知らないために予算が使われずに残ってしまう補助金もある。

\*

**さ**らにこんな注釈があるので、ちょっとおかしかったけど、いいね! と思った。

中小企業庁では、「申請の負担を軽減するため、補助金申請書類は原則3枚以内にします!」とある。書類の煩雑さによる垣根を低くしようと一生懸命なのだ。

商工会議所では商業者や工業者だけではなく、農業者の相談にも乗っており、これらの補助金についても相談から申請まで一緒に考えてくれるという。

これらは融資ではなく補助金なので気軽に相談してみるといい。それに全国の成功事例なども聴いてみると、次の一手が何かしら見つかるかもしれない。

餅屋は餅屋、それぞれが得意分野で手を結んでゆくことは意外な力になるはずだ。



**私**の生まれは北海道。(1953年1月生まれ・B型)  
私の父が若いころ、農業をやりたくて単身で北海道へ渡り、やがて道南に土地を求めて酪農をはじめ、そこで私が生まれた。

私の「ちさこ」という名も父が月寒の農場で住み込みで働いていた時、気立てのよい働きものの「ちさ」というお手伝いさんがいて、それでその名をいただいて、私は「ちさこ」という名前になったそう。

だから「さちこ」ではなくて「**ちさこ**」なのだ。

\*

**子**ども時代は朝から日が暮れるまで真っ黒になって野山を駆け回り、鳥や魚、野ネズミを追いかけ回して遊んでいた。

ヤブの中で遊んでいるため、しょっちゅう

ウサギ追いし

彼の山



ウルシにかけて顔がパンパンになった。それでも休むことなく右手にたも網、左手にバケツが毎日の私のお決まりのスタイルだった。

\*

**と**ころが、残念なことに私が小学校6年の時に、父が身体を壊し、やむなく酪農を諦めて宇都宮に来た。

あまりの文化の違いにしばし不登校にもなった。が、すぐまた元気になり今度は八幡山の瓢箪池のザリガニ釣りに興じた。遊びに遊んだ楽しい日々のおかげで、身体は丈夫！今でも溪流釣りやバードウォッチングは大好き。夢は今もめぐっている。

### ご寄付のお願い

平木ちさこの政治活動に対しまして、皆様からの熱いご支援を宜しくお願い申し上げます。

後援会長 山川 芳衛

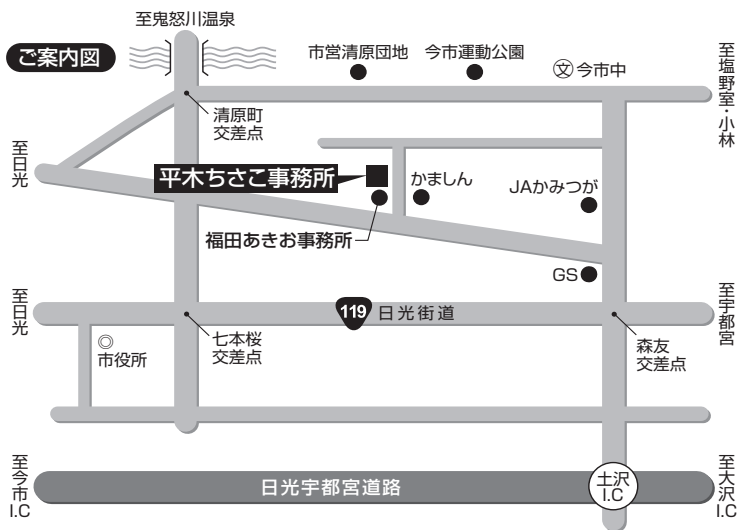
●郵便振替 00160-8-501170 平木ちさこ後援会

### 平木ちさこ後援会 臨時事務所のご案内

【住所】〒321-2335 日光市森友739-1  
(新かましん西側 / 福田あきお事務所北側)

☎0288-25-5577 FAX 0288-25-5578

※常設の元気ネット事務所(土沢)はこれまでどおりです。



### 想っても想っても

～ 若者たちへ～



想っても想っても想像しきれないことがある。

私にとって戦争がそのひとつだ。このところ、NHKの朝のドラマで戦争のころの話が続いている。送り出す立場もそうだが、行く立場も想像を絶する。すべての日常を捨てて銃を持ち戦地に向かう。生命を失くしても骨は無く、兵士の名が書かれた紙が一枚入った骨箱だけが戻ってくる。それを見ながら出征してゆく若い男性たち、本人も送る家族も胸が張り裂けそうな思いだろう。万歳の陰にはどうにもならないやるせなさや悲しみがいっぱいだったろう。そして戦地での辛い日々。

どうあっても戦争は起きてはならないものだ、とつくづく思う。素直にそう思う。人が人を殺し、人が人に殺される戦争。今、自衛隊が戦地に行けるか否かを国会で議論している。行ってはだめだ！

大義ではなく、一人ひとりが生命を守ることに徹すること。生命を捨てても守る大義や利益とは何なのか。

石油と生命を引き換えにするのか。

国のために国民の生活を守るために・・・

戦争にはそんな言葉がいつもつきまとう。

若者たちよ、嫌なものは嫌だ！と素直に言おう！

言えるうちに！ 党派を超えて！

※市政について、みなさんのご意見をお寄せ下さい。

【Eメール】 [hiraki-chisako@nifty.com](mailto:hiraki-chisako@nifty.com)

※平木ちさこの「元気ネット」ホームページは毎月20日更新です。

※平木ちさこオフィシャルサイト <http://hirakichisako.com>

平木ちさこ 検索

